

105-155

問題文

パーキンソン病治療薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. エンタカポンは、B型モノアミンオキシダーゼ(MAO-B)を阻害することで、脳内のドパミン代謝を抑制する。
2. ビペリデンは、ムスカリン性アセチルコリン受容体を遮断することで、線条体におけるアセチルコリン神経系とドパミン神経系のアンバランスを改善する。
3. セレギリンは、線条体におけるドパミン神経終末からのドパミン遊離を促進することで、ドパミンの神経伝達を回復させる。
4. イストラデフィリンは、アデノシンA_{2A}受容体を遮断することで、運動機能を回復させる。
5. ゾニサミドは、線条体のドパミンD₂受容体を刺激することで、ドパミン神経系を活性化する。

解答

2, 4

解説

選択肢 1 ですが

エンタカポンは「COMT」を阻害して「末梢」での「3-O-メチルドパ」の生成を抑制します。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は妥当な記述です。

選択肢 3 ですが

セレギリンは「MAO-B」阻害薬です。ドパミン遊離促進ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は妥当な記述です。

選択肢 5 ですが

ゾニサミドは様々な機序を介して作用する抗てんかん薬です。パーキンソン病にも用いられます。ドパミン合成促進や、神経細胞保護作用などを有するようです。D₂受容体刺激ではないと考えられます。

以上より、正解は 2,4 です。

類題

参考